**「おもいっこ☆あい　茶話会」　2023.6.11**

会場：コミュニティセンターきたの　（野洲市）

　本年度から新しい企画「おもいっこ☆あい」第１回目の活動として、６家族計７名の会員が参加のもと、対面による茶話会を開催しました。

　今回は最初の活動ということで参加者の構成や人数などが予測できなかったこともあり、講師の先生をお迎えするスタイルではなく、テーマも定めず、日々のお子さんの様子・困り事などを話す茶話会形式で行ないました。

　参加された方のお子さんは、学齢期の中学生から成人期の方また４０代の方までと幅広い年齢層となりました。

　話の中心は、まだ手の掛かることが多い学齢期のお子さんの日々の困り事についてでした。各ご家族で共通する部分も多く、参加者同士それぞれの考え方や、問題行動への対処方法などを出し合いました。

　成人期に入ると作業所等への就労、グループホームへ入所されている方もいて、平穏な日々を過ごされている様子についてもお話しして頂きました。学校を卒業してからの就労やグループホームへの入所の流れなども説明して頂き、日々の行動の対処方法へのアドバイスは学齢期のお子さんの親御さんには　とても参考になったのではないかと思いました。

　また、現状の国の障害福祉についても話が展開し、我々が今後、国や自治体に訴えていくべき事柄についても、話題となりました。　あっという間に予定の２時間が過ぎ、各々、日々の思いや悩みを吐き出す機会となりました。　次回の「おもいっこ☆あい」の活動は未定ですが、今回の活動を受け年度内にもう一度企画出来ればと考えています。今回参加出来なかった方も、次回は気軽にお話する感じで参加して頂ければ嬉しく思います。

＜参加者の感想＞

我が息子のことは、分かっているつもりですが、今日は皆さんのお話しから息子以外の話が聞けてよかったです。

それぞれ子どもの特性は違うので一概にまとめることは難しいですが、参考になることも多いと思いました。制度のことなど知らないことが多く、もっとたくさん聞きたいことが出てくると思いました。

このような気軽に話ができるような場は、抱えている悩みなど聞いてもらえるので、親の精神的なケアに大変いい場だと思いました。このような機会があれば、また参加したいです。今後も開催してもらいたいと思いました。

自閉症重度の家族は福祉サービスを利用しつつも日々苦悶の中でやり繰りされており、もっと手厚い支援のサービスが生涯にわたって必要だと感じました。社会や行政に対して　もっと親が代弁して理解や支援を求めないと中々良くならないことは明らかであり、おもいっこ会に行政の方も参加してもらって聞いてもらいたいとも思いました。今回は父親参加が多く、お母さん達も参加出来てお話が聴けると良いと思いました。一緒に子どもさんも来られるような場合はボランテイアさんが必要なのではないかと思います。　困っていることを分かってもらえる場、いろいろ工夫や苦労話は、参加者には癒しの場になると思います。対面での交流会を今後も続けて欲しいです。

本日はありがとうございました。うちの子どもは、まだ手の掛かることが多いですが、他のお子さんと共通する部分も多く、考え方や対処方法など参考になりました。また、諸先輩方からも沢山のアドバイスを頂き、大変参考になりました。　今回、久しぶりの対面でのイベントで、非常に話しやすく和やかな雰囲気に感じました。次回も是非参加したいと思いました。

障害が重いと言うのは、支援度の高いことを言うのかもしれません。軽度と言われる人たちと重い人達では、必要な支援の質が違います。それぞれの大変さは当事者にしかわかるものでは無いと思います。ただ知的にも重く発達障害も持ち合わせている人はコミュニケーションが難しいことから本人も支援者も厳しい状況にあると感じています。今日お話を聞かせてくださった方の子どもさんにも　それぞれの悩みがあり、解決策など簡単に見つからないのが辛いところです。親だけではどうにもなりませんし、可能な限り専門家に相談し、公的な支援を受けられる状況だといいですね。息子がまだ小学部だったと思いますが、ある講演で「親は子どもを愛するだけでいい」と言われた先生がいて、私はその言葉に救われました。何をどうすれば子どもが落ち着くのかわからずしんどい時期でした。今日参加して、まだ学齢期の方も親離れ子離れを気持ちのどこかに忘れずに進まれることを伝えたいと思いました。

おもいっこ茶話会　非常に有意義な時間となりました。ありがとうございました。

色々な話題の中で、同じような体験が目に浮かぶ想いでした。　大変な毎日を送られている様子には頭が下がる想いでした。それと同時に先輩お父さんからのお話は、凄く私たちに想いを寄せて頂いていた事も感じられました。改めて有難いと感じた次第です。我々もいつか子離れを経験し、先々のグループホーム等を利用することもあると思うと我々より先の出来事を経験されている方のお話は参考になり、もっと知見を得ていくべきと思いました。次回も近況を報告できる場になればと思います。



